
国立病院機構 相模原病院

令和6年度 中心拠点病院事業 総括

臨床研究センター長 海老澤 元宏



アレルギー中心拠点病院としての活動

- **アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議の開催**

拠点病院との情報共有、意見交換を行い医療の均てん化を図り、広域的な研究体制を整備構築する。

- **秋田県におけるアレルギー講演会・患者相談会開催**

秋田県拠点病院である秋田大学において、秋田県民に向け講演会・個別相談会を実施。

- **研修の実施（A・B・C／オンライン）**

全国の拠点病院における医療従事者の育成を実地で行い、アレルギー疾患に関する医療の質の向上に努めた。また、遠隔地や社会的状況によりアレルギー中心拠点病院での研修が難しい医師に向けて、講義や手技を収めた動画を配信した。

- **医療相談の実施（医師向け／患者向け）**

医師向けには難治性症例の相談や拠点病院との連携支援を提供。患者向けには電話相談で悩みや不安に対応し、生活支援を図る。

- **地方拠点病院の活性化**

宮崎県へ月1回の診療支援を実施。

- **食物アレルギー研究会の運営**

各種手引きおよび食物経口負荷試験実施施設一覧をWEB上で公開。年1回の研究会開催。

秋田県におけるアレルギー講演会・個別相談会

秋田県へ中心拠点病院より医師、管理栄養士、薬剤師が赴き、アレルギー疾患医療へ携わる多職種の医療の質向上のため、また一般市民の生活の質向上のため講演会、相談会にて啓発、情報提供を行った。

開催日

2024年8月26日（日） 13時～17時

開催場所

秋田大学講堂

開催方法

現地開催とZoomでのオンライン配信

対応者

中心拠点病院（国立病院機構相模原病院）の医師、
管理栄養士、薬剤師

参加人数

● 講演会

	総数	医療従事者	教育関係者	行政関係者	福祉職関係者	一般市民 他
講演会参加者	105					
会場参加者	38	20	2	7	1	8
オンライン参加者	67	49	5	7		6

● 個別相談会

食物アレルギーについて 4名 アナフィラキシーについて 1名

※講演会動画をアレルギー中心拠点ホームページにて期間限定で公開しております。

A研修：相模原臨床アレルギーセミナー

設立経緯

日本アレルギー学会WGの討議において、講習会形式での研修を相模原病院が担当となる。

拠点病院の人材育成プラン

国のアレルギー疾患対策基本法が制定され、厚労省と中心拠点病院（成育医療研究センターと国立病院機構相模原病院）が中心となり拠点病院の人材育成に関して検討。当セミナーを第一段階の研修 = A研修に位置づけた。

参加人数

毎年300人以上が参加する国内最大のアレルギーセミナー

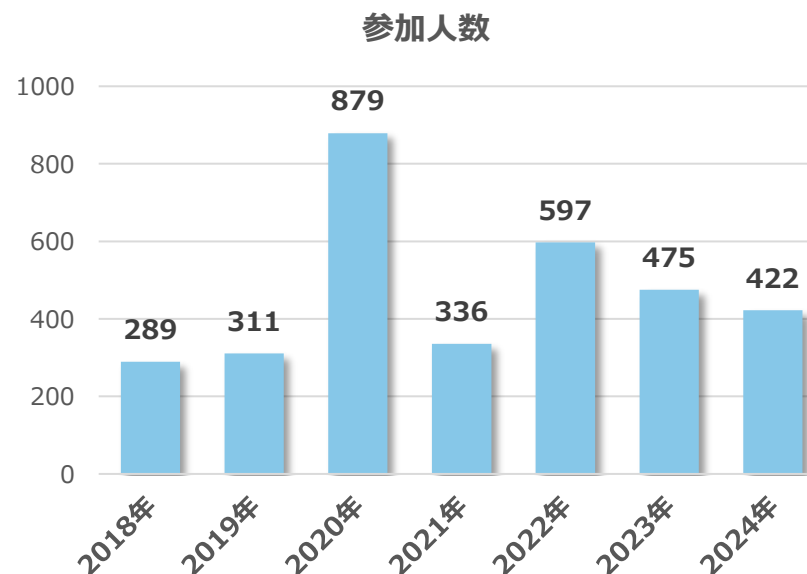
2025年

【WEB配信期間】

2025年8月1日(金)～9月1日(月)

【参加登録期間】

2025年4月7日(月)～7月15日(火)



B研修：1,2週間の総合アレルギー研修

応募・実施状況

2024年度：研修実施人数 9名

(2月17日～2名 3月10日～2名 実施予定)

今年度より、B研修への参加が容易になるよう、従来の2週間コースを短縮した1週間コースを設定。

研修内容（成人 1週間）

	月	火	水	木	金
AM	9：00～ 施設案内 （事務担当者） 10：00～ 共通 小児科見学	共通 皮膚科外来見学 食物経口負荷試験 経口免疫療法（実施期間中のみ）	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診 外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 耳鼻科手術見学	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導
PM	成人 講義 病棟カンファ	共通 皮膚科実習＋講義 ・アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・金属アレルギー等 ・パッチテスト 終了後 講義	成人 皮膚テスト実習 講義	成人 講義 実習等	成人 修了証明書授与 （事務担当者）

オンライン講義：

成人・小児食物アレルギー、成人・小児喘息、ABPA、EGPA、AERD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーなど

研修内容（小児 1週間）

	月	火	水	木	金
AM	9：00～ 施設案内 （事務担当者） 10：00～ 共通 小児科見学	共通 皮膚科外来見学 食物経口負荷試験 経口免疫療法（実施期間中のみ）	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診 外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 耳鼻科手術見学	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導
PM	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学	共通 皮膚科実習＋講義 ・アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・金属アレルギー等 ・パッチテスト 終了後 講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ※講義	成人 修了証明書授与 （事務担当者）

オンライン講義：

成人・小児食物アレルギー、成人・小児喘息、ABPA、EGPA、AERD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーなど

C/D研修：小児・成人アレルギー

処遇および業務

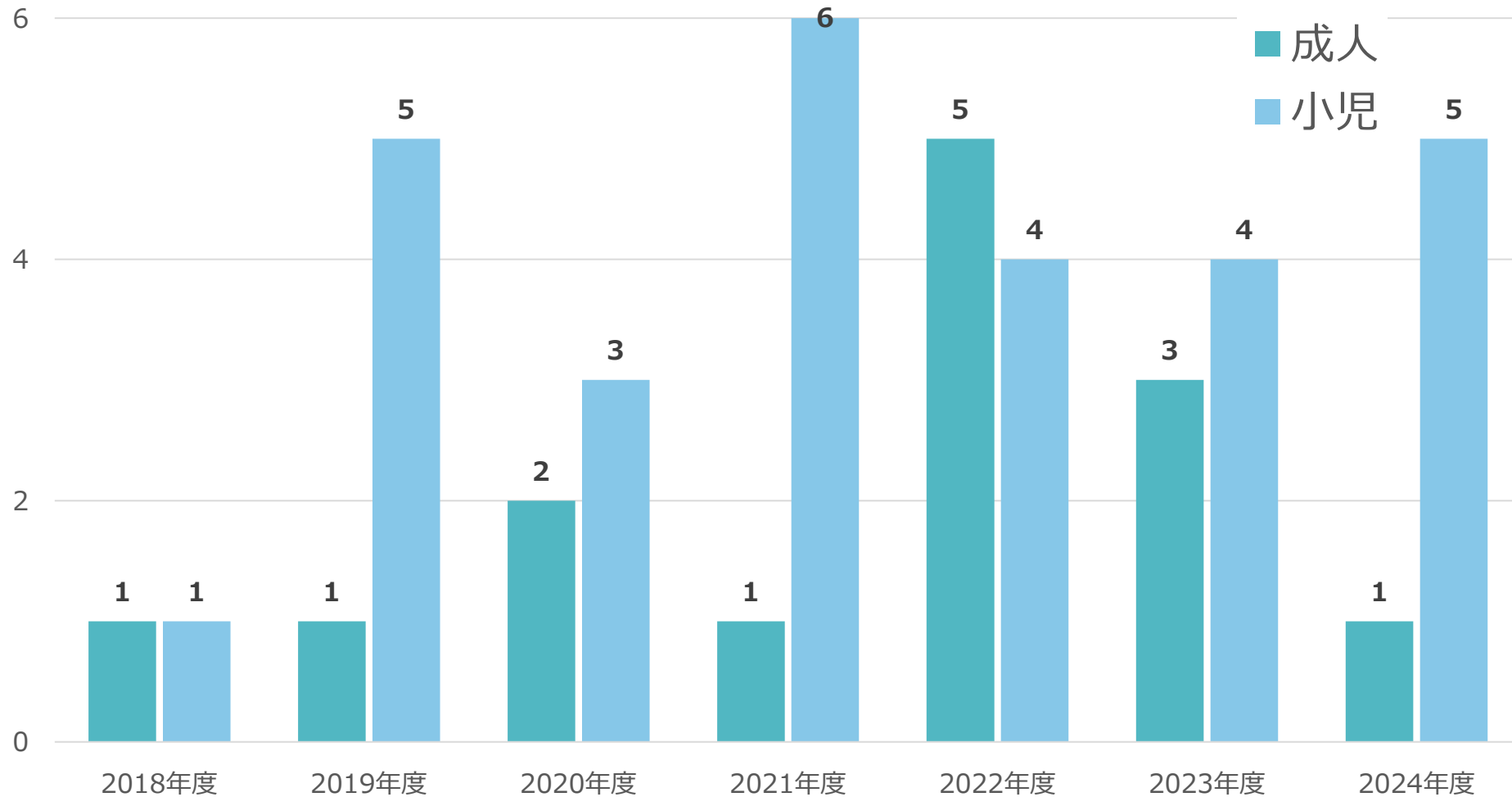
- 小児科あるいはアレルギー・呼吸器内科レジデントとしての病棟および外来業務
- 臨床研究センター非常勤研究員（併任）としての臨床研究業務
- 長期研修であれば、当院勤務しながら学位取得も可能
- 順天堂大学連携大学院 制度利用（5年以上在職できる場合・入学試験あり）

今後の募集案内

- C, D研修ともに、次年度4月より最低1年間（前年度8月末までに要連絡）
- C, D研修は1年以内の短期研修は不可、長期研修は応相談
- 地方拠点病院希望者優先

※応募者多数の場合は、さらに次年度に繰り越す場合あり

C/D研修の実績：年度別新規研修者数

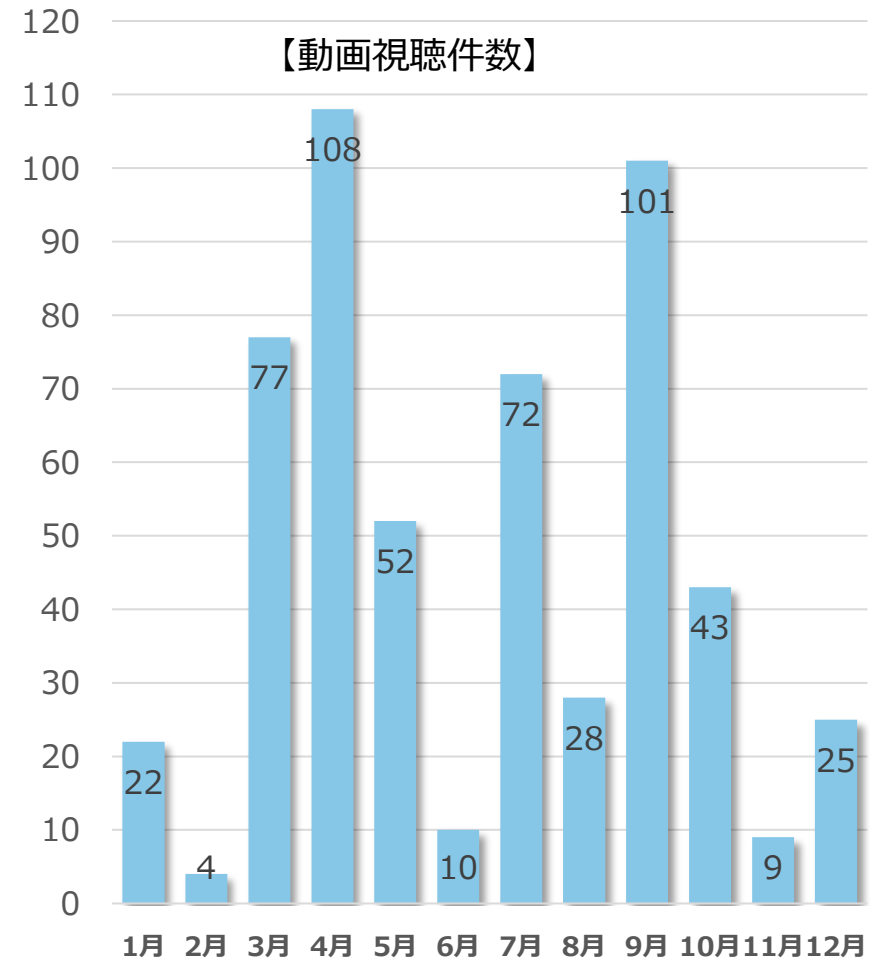


オンライン動画研修

相模原病院医師による講義・手技をアレルギー中心拠点病ホームページより配信

- 成人アレルギー領域
- 小児アレルギー領域
- 共通領域
- 各種検査
- 番外編

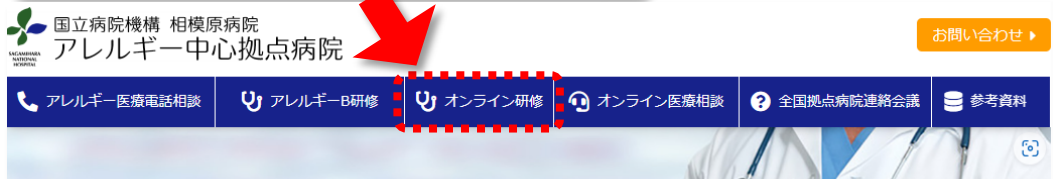
※ 8月に開催された秋田県アレルギー講演会動画を公開



オンライン動画研修：利用方法

「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

①「オンライン研修」をクリック



②「はい」をクリック

アレルギー研修 (医師向け)

あなたはアレルギー拠点病院の関係者ですか？

はい

いいえ

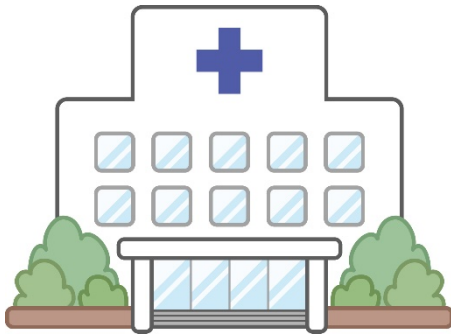
オンライン研修

成人アレルギー研修

1. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 佐藤 浩)
2. アレルギー疾患の診断と治療 (講師 佐藤 浩)
3. アレルギー疾患の予防 (講師 佐藤 浩)
4. アレルギー疾患の最新治療 (講師 佐藤 浩)
5. アレルギー疾患の最新治療 (講師 佐藤 浩)
6. SPT (講師 佐藤 浩)
7. ARA (講師 佐藤 浩)
8. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 佐藤 浩)
9. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 佐藤 浩)
10. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 佐藤 浩)

オンライン医療相談（D to D）

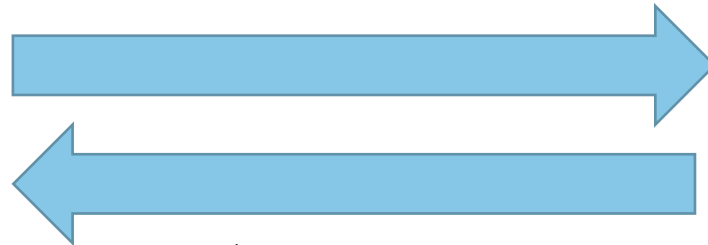
<アレルギー拠点病院>



拠点病院のご所属の
先生方

✓症例に関するご相談
個々の症例の治療方針？
診断方法？

✓検査・診療体制の構築に関する
ご相談



アドバイス

- ◇オンライン（web会議形式）
- ◇無料
- ◇何度でも可

**2024年度（4月～12月）
対応実績 小児領域 1件**

<相模原病院>



相模原病院の
小児科・内科医師

オンライン医療相談：利用方法

「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

①「オンライン医療相談」をクリック



②「はい」をクリック

アレルギー研修(医師向け)

あなたはアレルギー拠点病院の関係者ですか？

はい

いいえ

③「応募フォーム」をクリック

応募フォーム



アレルギー医療電話相談

実施内容

受付日時：毎週火・水曜日（祝日・年末年始は除く）

10:00-12:00 / 13:00-15:00

電話対応者：小児アレルギーエデュケーターおよび経験豊富な看護師が対応。

年間実績

2024年1月～12月

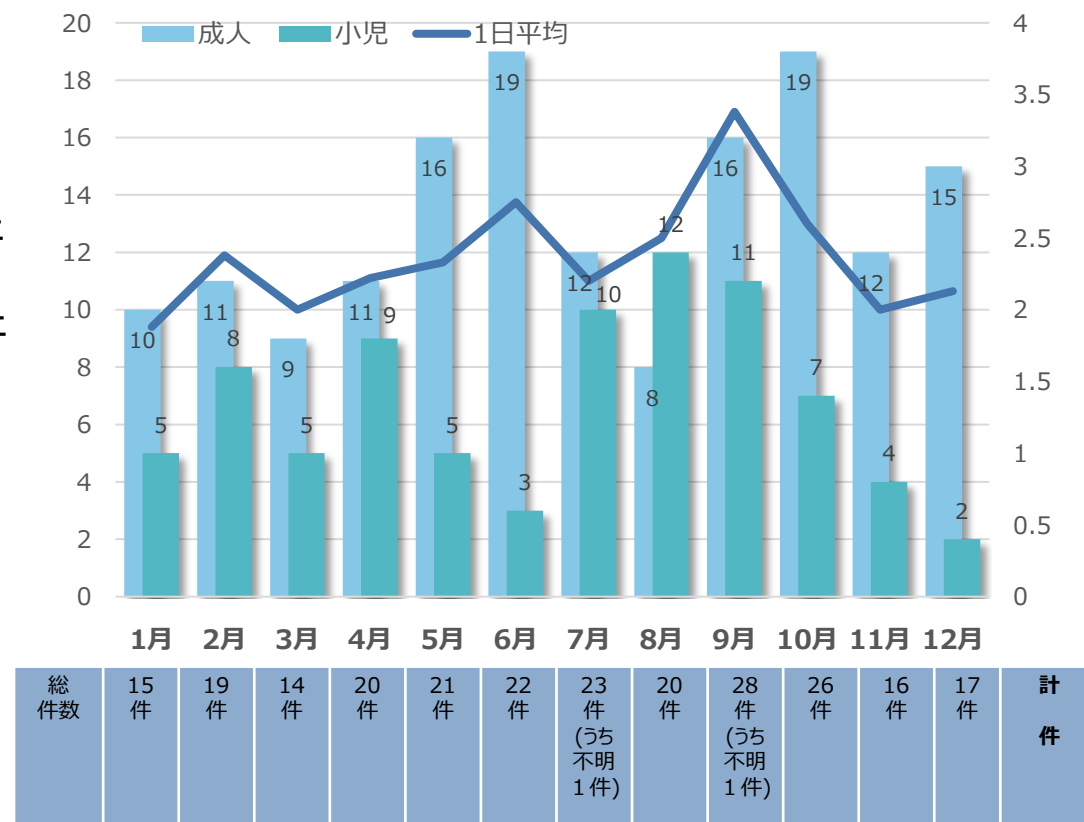
年間相談件数

■ 成人 / 158件 ■ 小児 / 81件

■ 不明 / 2件 ■ 総件数 / 241件

年間相談日数 101 日

1日平均相談件数 2.38 件



アレルギー医療電話相談：2024年実績 (1-12月)

相談総件数 241件

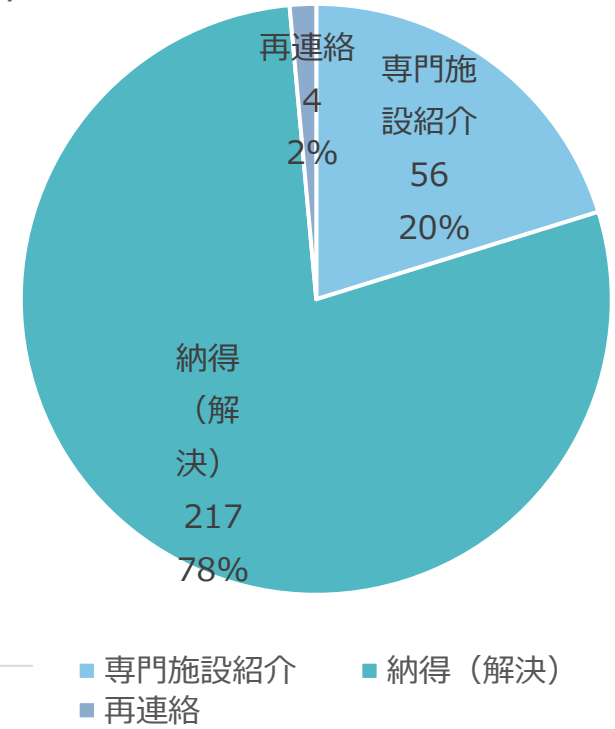
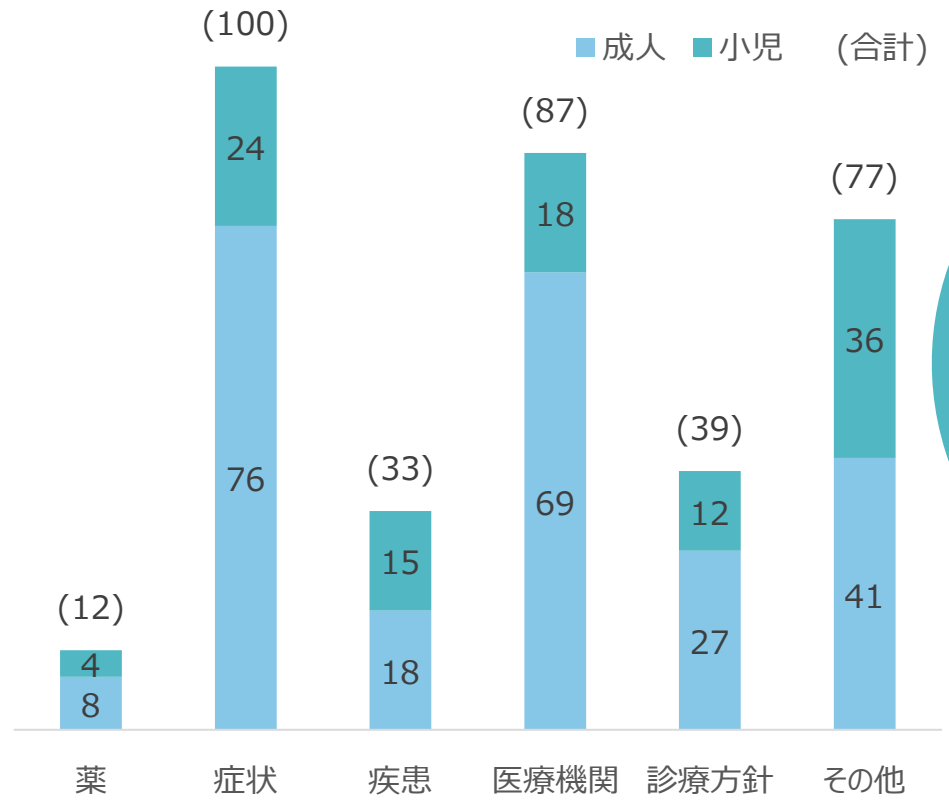
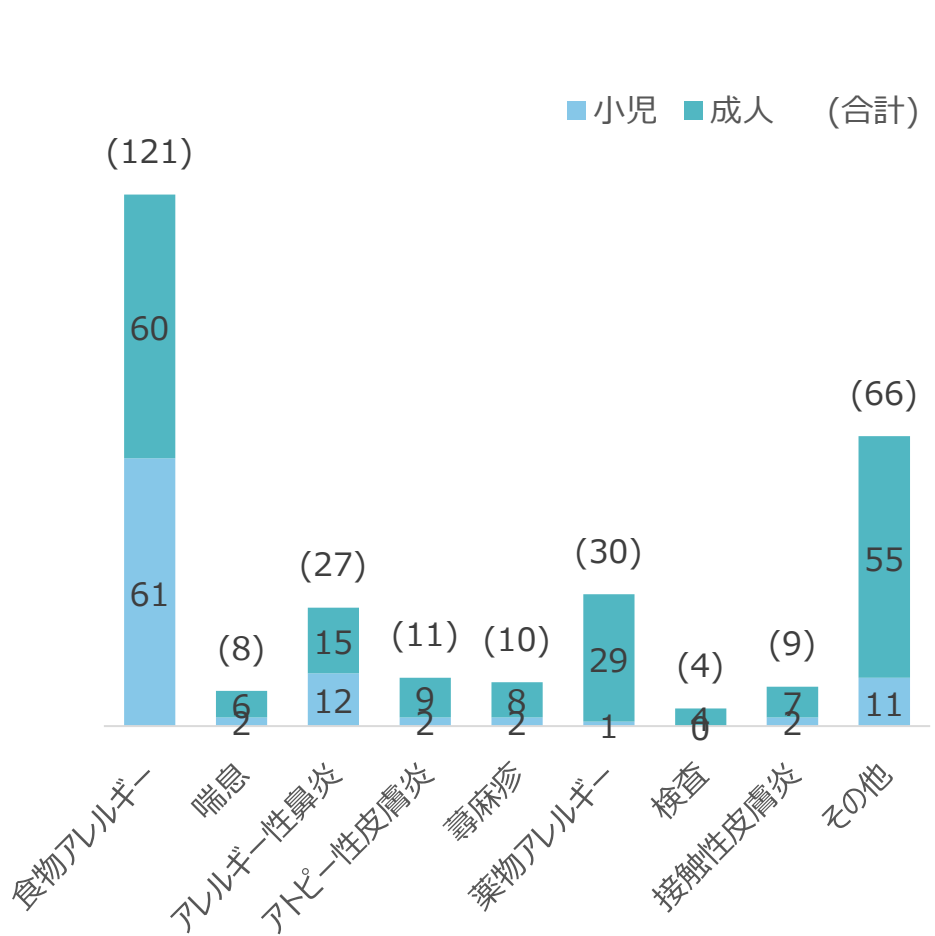
疾患

※重複あり
のべ 286 件

相談内容

※重複あり
のべ 348 件

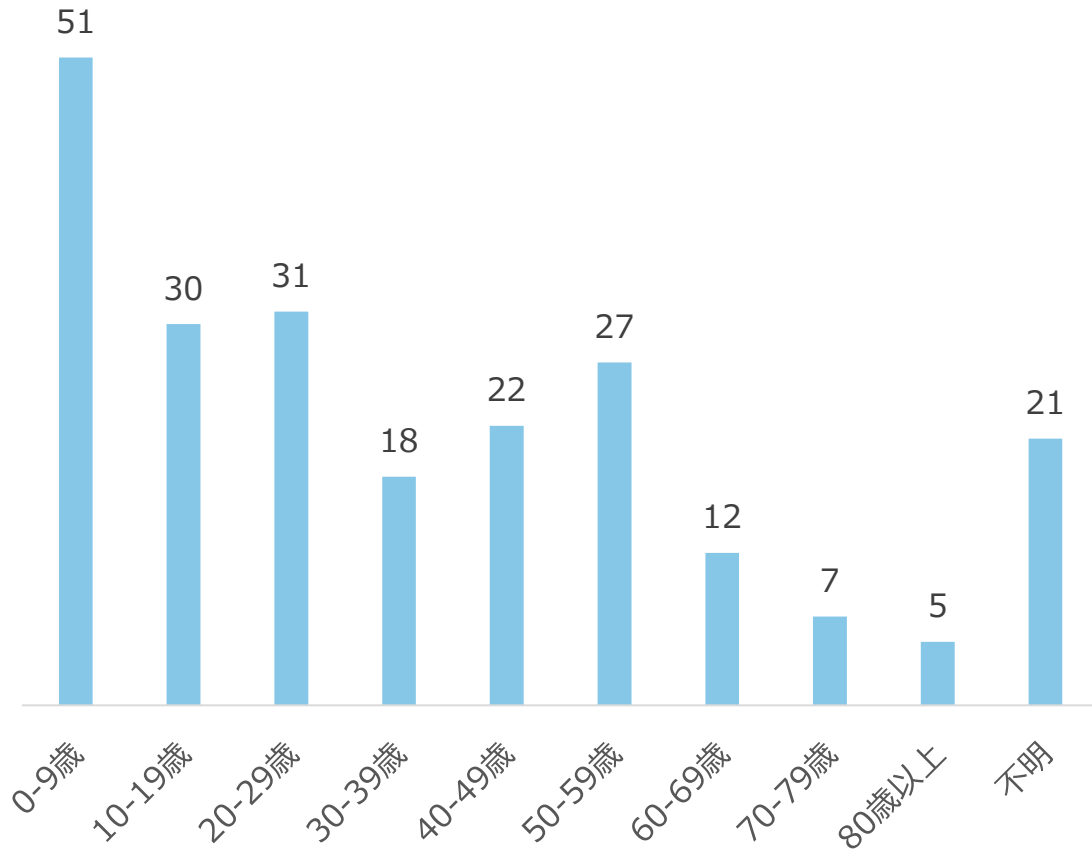
相談結果



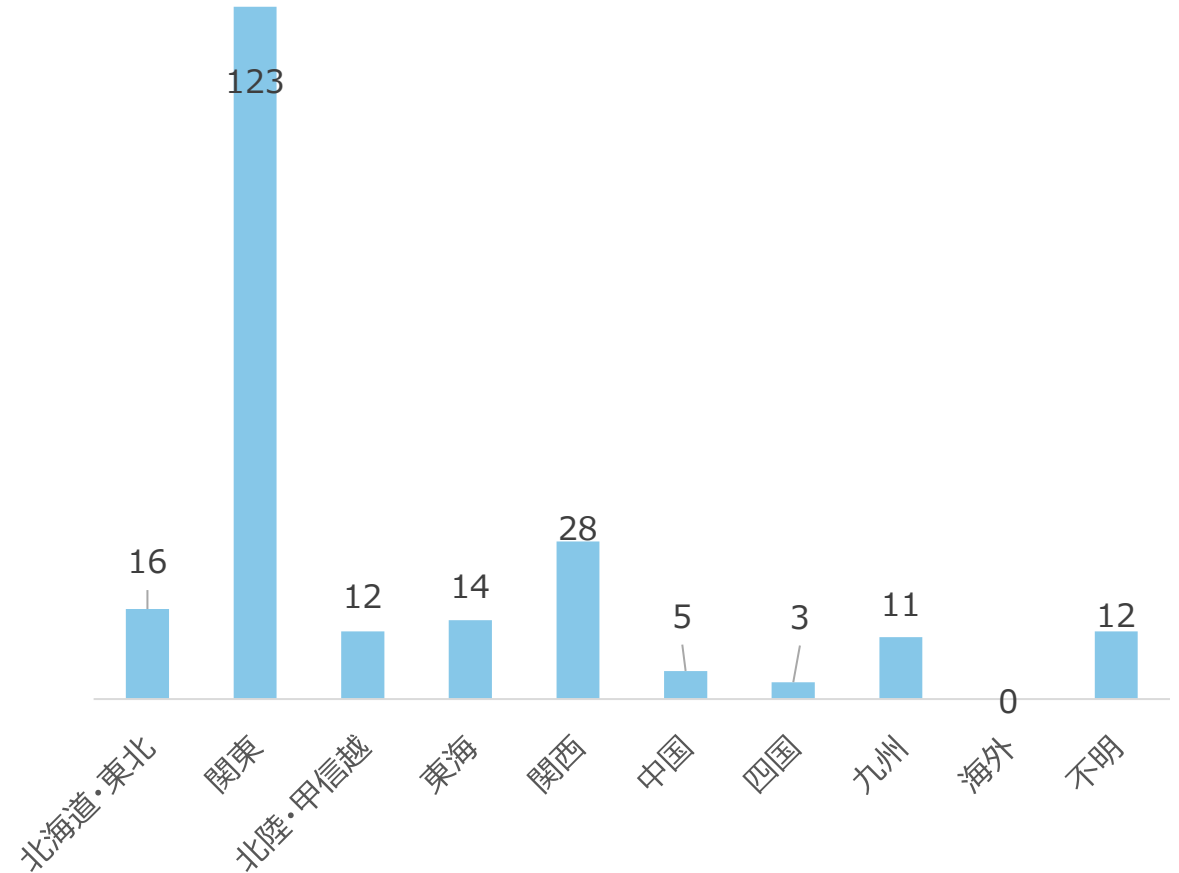
アレルギー医療電話相談：2024年実績 (1-12月)

相談総件数 241件

相談対象者年齢



地域別相談件数



中心拠点-地方拠点様々な事業連携

【宮崎県における取り組み】

●アレルギー専門外来のサポート

- 月1回中心拠点からアレルギー学会指導医・専門医の派遣

●アレルギー疾患に関連する調査事業のサポート

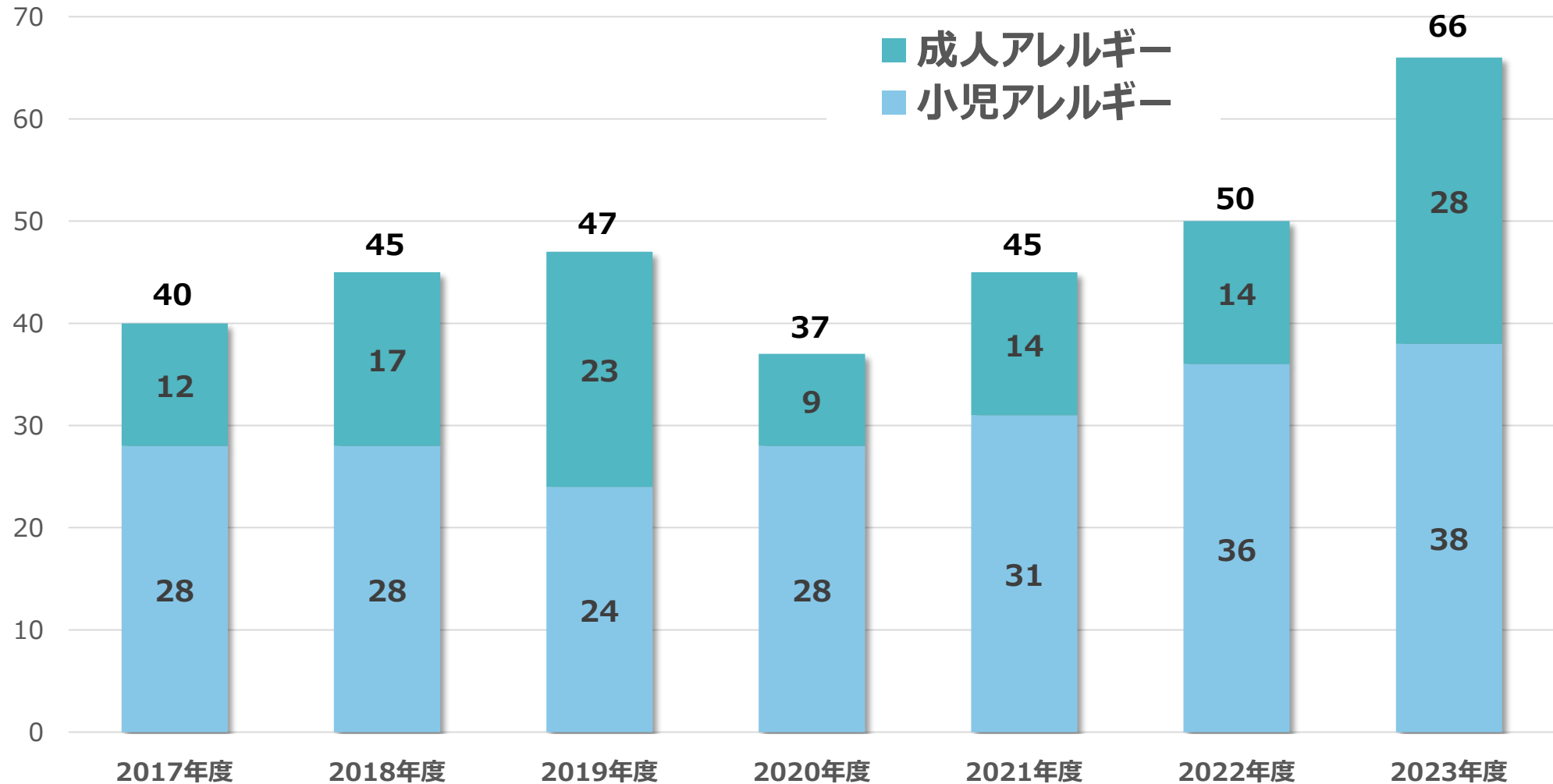
- 学校の食物アレルギー対策に関する調査
- 食物経口負荷試験の実施状況調査（年1回）

●人材育成・地域連携のサポート

- 宮崎小児アレルギー勉強会（年4回）
- 宮崎市教育委員会との連携（アレルギー対策）
- 宮崎県医師会との連携（調査事業）
- 市民向け講演会（情報発信）

研究実績

相模原病院 アレルギー関連 英文論文 掲載数 (2017~2023年度)



食物アレルギー研究会

食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

トップページ 研究会について 開催案内 負荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料

- 入会のご案内
- 食物アレルギーの診療の手引き Q & A
- 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

食物アレルギーの診療の手引き2023

食物経口負荷試験の手引き2023

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2023

お知らせ

2024年12月17日 第25回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました

2024年12月2日 食物経口負荷試験実施施設一覧更新のご案内

2024年10月16日 2024年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のおしらせ

2024年10月2日 2025年度「乳の学術連合」学術研究公募のおしらせ

2024年9月13日 「食物アレルギーの診療の手引き2023」「食物経口負荷試験の手引き2023」WEB版公開のご案内

開催案内

第25回食物アレルギー研究会 (現地: 2025年2月9日(日) WEB: 2月14日(金)-3月2日(日))

第24回食物アレルギー研究会 (現地: 2024年2月18日(日) WEB: 2月22日(木)-3月10日(日))

第23回食物アレルギー研究会 (現地: 2023年2月12日(日) WEB: 2月17日(金)-3月5日(日))

第22回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2022年2月4日-3月6日)

第21回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2021年2月25日-3月16日)

【主な掲載コンテンツ】

- 食物経口負荷試験実施施設一覧
- 食物アレルギーの診療の手引き
- 食物経口負荷試験の手引き
- 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き

etc.

<https://www.foodallergy.jp/>

食物アレルギー研究会

食物経口負荷試験実施施設一覧

<https://www.foodallergy.jp/ofc/>

食物アレルギー研究会

食物経口負荷試験 実施施設一覧

トップページ > 食物経口負荷試験 実施施設一覧

【食物経口負荷試験をご希望される患者さんへ】

このサイトに掲載されている医療機関は、日本小児科学会専門医研修プログラム 基幹施設・連携施設の小児科を対象として行った調査に回答があり、掲載の許可があった施設です。負荷試験を行っている施設は掲載の施設以外にも多数あります。

「外来負荷」「入院負荷」は2023年度（令和5年度）の外来または入院での食物経口負荷試験の実施症例数を示します。

※現時点の実施状況と異なる場合がございます。試験希望の場合は必ず各施設へお問い合わせください。

エリア一覧



- 北海道エリア
- 東北エリア
- 関東エリア
- 中部エリア
- 近畿エリア
- 中国エリア
- 四国エリア
- 九州沖縄エリア

- 入会のご案内
- 食物アレルギーの診療の手引き Q & A
- 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

食物アレルギーの診療の手引き2023
Web版
[PDF/9MB]

食物経口負荷試験の手引き2023
Web版

関東エリア

トップページ > 食物経口負荷試験 実施施設一覧 > 関東エリア

1,000件以上	501~1,000件	201~500件	101~200件	51~100件	1~50件	実施なし
★★★★	☆☆☆	☆☆	☆	◎	○	—

症例数：2023年度（令和5年度）実績

施設名	外来負荷	入院負荷
茨城県		
総合病院土浦協同病院 小児科	○	○
茨城県立子ども病院 小児アレルギー科	☆☆	☆
東京医科大学茨城医療センター 小児科	—	○
水戸済生会総合病院 小児科	○	★★★★
日立製作所ひたちなか総合病院 小児科	○	◎
日立総合病院 小児科	—	○
栃木県		
自治医科大学附属病院 小児科	◎	◎
獨協医科大学病院 小児科	☆☆☆	☆☆☆
JCHOうつのみや病院 小児科	—	○
芳賀赤十字病院 小児科	—	☆
新小山市民病院 小児科	—	◎
那須赤十字病院 小児科	○	◎
足利赤十字病院 小児科	○	—
群馬県		
前橋赤十字病院 小児科	—	○
群馬県立小児医療センター アレルギー・リウマチ/感染症科	—	☆☆
群馬大学医学部附属病院 小児科	◎	○

食物アレルギー研究会 資料



食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

ホームページ 研究会について 開催案内 食荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料

入会のご案内

食物アレルギーの診療の手引き Q & A

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

お知らせ

2024年12月17日 第25回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました

2024年12月2日 食物経口負荷試験実施施設一覧更新のご案内

2024年10月16日 2024年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のお知らせ

2024年10月2日 2025年度「乳の学術連合」学術研究公募のお知らせ

2024年9月13日 「食物アレルギーの診療の手引き2023」「食物経口負荷試験の手引き2023」WEB版公開のご案内

開催案内

第25回食物アレルギー研究会（現地：2025年2月9日(日) WEB：2月14日(金)-3月2日(日)）

第24回食物アレルギー研究会（現地：2024年2月18日(日) WEB：2月22日(木)-3月10日(日)）

第23回食物アレルギー研究会（現地：2023年2月12日(日) WEB：2月17日(金)-3月5日(日)）

第22回食物アレルギー研究会（WEB開催：2022年2月4日-3月6日）

第21回食物アレルギー研究会（WEB開催：2021年2月25日-3月16日）

<https://www.foodallergy.jp/document/>



資料

ホームページ > 資料

食物アレルギーの診療の手引き2023

厚生労働科学研究費補助金
「食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立と普及を目指す研究」
研究代表者：海老澤 元宏
小児から成人までの食物アレルギーの診断・治療のレベルの向上と、食物アレルギー患者の生活の質の改善を図るために一般医向けに作成された手引きです。食物アレルギーの診断・治療の基本について述べています。
2020年版の改訂版として発行されました。

[PDF/9MB] Web版

食物経口負荷試験の手引き2023

厚生労働科学研究事業
「食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立と普及を目指す研究」
研究代表者：海老澤 元宏
即時型食物アレルギーの診断・管理のレベル向上および食物経口負荷試験の普及を図るために一般医向けに作成された手引きです。
食物経口負荷試験の標準的な実施方法について述べています。
2020年版の改訂版として発行されました。

[PDF/10MB] Web版

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2022

厚生労働科学研究事業
「食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立と普及を目指す研究」
研究代表者：海老澤 元宏
食物アレルギー患者に対する栄養食事指導の役割は大きく、不可欠です。
この手引きは主に管理栄養士の食物アレルギーの栄養指導レベルの向上を目標に作成されていますが、患者の生活に携わる全ての関係者の参考になる手引きです。
2017年版の改訂版として発行されました。

[PDF/8MB] Web版